

PERI-IMPLANT DISEASE

インプラント周囲病変模型 [PE-IMP004]

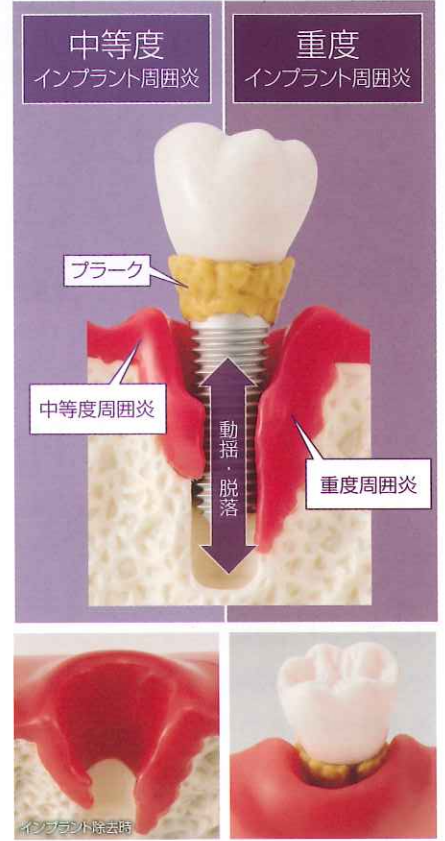
インプラント周囲病変の 進行状態を模型に

インプラント周囲粘膜炎からインプラント周囲炎への進行を
分かりやすく段階的に再現したデモンストレーション模型です。
患者様への術前のインフォームドコンセント、及び術後のメンテナンス指導、
罹患者に対しては治療方針の説明などにお使いいただけます。



標準価格 25,000円(税抜き)

特長紹介



インプラントは天然歯と違い直下が骨となっているため菌が入りやすいことを理解してもらい、ブラッシングやフロッシングの重要性を説明できます。

インプラント周囲粘膜炎では非外科的治療により健全状態へ回復すること、軽度インプラント周囲炎では、外科的治療が必要であることを説明できます。

中等度インプラント周囲炎では、外科的治療により治癒する可能性があること、重度インプラント周囲炎ではインプラント除去が必要であることを説明できます。



インプラント周囲病変への対応に

中居 伸行先生

長崎大学歯学部 臨床教授
ない歯科(京都開業)
日本補綴歯科学会 専門医・認定医
EAO認定医



【中居伸行先生出演】
インプラント周囲炎
の情報と模型の詳細
解説を配信中!

インプラント治療の普及に伴い、生物学的偶発症としてインプラント周囲炎の一般的罹患率も徐々に明らかになり、インプラント周囲病変への対応は不可欠なものとなっています。インプラント治療の説明をする上で、こうした偶発症に対する患者の理解とそれに対する説明は必須です。

本模型はFroumの分類(2013)に従って病態を分類し、患者様が進行に伴う段階的な炎症の様子を3Dで理解できます。また、それに対する処置の説明にも併せて使用できます。

また、インプラント周囲炎発症時の病態の説明はもちろんですが、インプラント治療前から予防に対する動機づけ、あるいはメンテナンスの重要性を説明する際にも効果的だと思います。



善管注意義務を再確認する

長谷川 嘉昭先生

長谷川歯科医院(東京都)
日本歯周病学会 認定歯周病専門医・評議員
日本臨床歯周病学会 認定医・指導医

インプラント治療に対して大きな期待を抱く多くの患者さんは、もし、その治療経過が不良になった時、自分に原因があると思われる方は少ないのが現実でしょう。

そこで、インプラント治療の欠点をあえて明確にすることで、そのリスクを視覚的かつ具体的に表現したこのモデルを使用することで、施術前の十分な説明と同意を確認しておきたいですね。なぜなら、インプラント関連訴訟における歯科医師敗訴の原因は、施術前における説明義務違反が大半ですから・・・

是非、コンサルテーション時に活用して、患者さんからの信頼獲得に繋げてほしいと願います。

●仕様および外観は、製品改良のため、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。 ●価格は、2014年2月現在のものです。

株式会社 ニッシン

www.nissin-dental.jp

西日本営業所 〒604-0847 京都市中京区烏丸通り二条下る秋野々町513番地
京都第一生命泉屋ビル8階 TEL:075-257-7255
東日本営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4-14-8 TEL:03-3836-3691